

令和7年8月診療予定表

診療時間(午前:9:00~12:00 午後:15:00~18:00) ※予告なく変更となる場合があります。

日	曜日	午前診				午後診			当直
		内科・一診	内科・二診	内科・三診	小児科	内科・一診	内科・二診	小児科	
1	金	前田純		佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	藤原
2	土	穴田	隈元		岩井	馮/長尾			高橋
3	日	休診(日直 光井)							光井
4	月	前田純	多田羅	西脇	岩井	前田純	西脇	岩井	竹崎
5	火	前田純	田井		岩井		田井	岩井	田井
6	水	隈元	多田羅	佐尾山	岩井		多田羅	岩井	多田羅
7	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	木下	岩井	西
8	金	前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	西垣
9	土	前田純	長尾		岩井	馮/長尾			桑原
10	日	休診(日直 桑原)							木村
11	月	当番医(内科:木村・小児科:岩井)				当番医(内科:木村・小児科:岩井)			米田
12	火	前田純	田井		岩井		田井	岩井	田井
13	水	隈元	多田羅	佐尾山	岩井		多田羅	岩井	多田羅
14	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	藤原	岩井	阪梨
15	金	前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	四元
16	土	前田純	隈元		岩井	四元			桑原
17	日	休診(日直 桑原)							杉峯
18	月	前田純	多田羅	西脇	岩井	前田純	西脇	岩井	竹崎
19	火	前田純	田井		岩井		田井	岩井	田井
20	水	隈元	多田羅	佐尾山	岩井		多田羅	岩井	多田羅
21	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	木下	岩井	杉峯
22	金	前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	西垣
23	土	前田純	隈元		岩井	馮/長尾			片岡
24	日	休診(日直 木村)							木村
25	月	前田純	多田羅	西脇	岩井	前田純	西脇	岩井	竹崎
26	火	前田純	田井		岩井		田井	岩井	田井
27	水	隈元	多田羅	佐尾山	岩井		多田羅	岩井	多田羅
28	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	藤原	岩井	杉峯
29	金	前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	木下
30	土	前田純	四元		岩井	馮/長尾			高橋
31	日	休診(日直 阪梨)							阪梨

※多田羅Dr. 月曜日は午前診のみ、水曜日の午後診は 16:00~17:00 となります。

※皮膚科・形成外科は予約診療・訪問診療を行っています。

専門外来	消化器内科	前田隆史 前田純	呼吸器内科	前田隆史 西脇聖剛
		田井裕樹 山本隆太郎	呼吸器外科	佐尾山信夫
	消化器外科	隈元謙介 馮東萍	泌尿器科	多田羅潔
		藤原潤一 四元拓宏	小児科	岩井朝幸 岩井艶子
		長尾美奈 木下新作		



当院では、正面玄関や病棟に「ふれあいの箱」というご意見箱を設置しておりますので、当院に対するご意見・ご要望等ございましたらご遠慮なくお聞かせください。

今月の一言



理事長 前田純

みなさんこんにちは。

8月です。暑い日が続きますね。

さて、先月は带状疱疹のワクチンのことについて書かせて頂きました。ついぞと言ってはなんですが、もう一つ、最近打てるようになったワクチンがありまして、今月はそのことについて書こうと思います。

そのワクチンとは「RSウイルス」のワクチンです。RSウイルスと言われても、あまり聞いたことが無い、という方が多いかもしれません。昨年ぐらいに、さだまささんのCMがしばらく流れていましたが、あまり知名度は上がらなかったようです。

RSウイルスが最初に発見されたのは1956年のことで、まあまあ以前から知られているウイルスで、ざっくり言ってしまうと風邪の症状を引き起こすウイルスの一つです。飛沫や接触感染により感染し、咳や鼻水、発熱などの症状を引き起こし、ほとんどの場合勝手に治ります。だいたい2歳ぐらいいまでにほぼ100%の人が罹ると言われており、生涯で何回も感染します。皆さんもこれまで風邪をひいた時に、その原因がRSウイルスだったことが何度かはあるだろう

2025年
8月
第207号

トピックス

- 今月の一言・・・理事長
- 純心会・善心会 親睦会総会
- パーキンソン症候群について
- 旬の素材で簡単料理

「純心会理念」

信頼される医療
想いと優しさの伝わるケア
私たちはそれを目指します



純心会・善心会 親睦会総会

今年は梅雨が六月中に明け、統計を開始してから最も早く、そして最も短い梅雨となりました。それはさておき、七月五日、オークラホテルにて、純心会・善心会合同の親睦会総会が行われました。

今回は例年とは趣向が異なり、老健大会の予演会を実施せず、カラオケ大会が行われ、賑やかな親睦会となりました。





パーキンソン症候群とは

パーキンソン症候群とは、振戦（手や指などが小刻みに震える）、筋強剛（筋肉のこわばり）、動作緩慢（歩行や起立などの動作が遅くなり、時間がかかる）、姿勢反射障害（体のバランスがうまく保てず、ふらついたり転びやすくなったりする）といった運動症状の総称です。

パーキンソン病と似たような症状が現れる病気のことをパーキンソン症候群と呼びますが、パーキンソン病とパーキンソン症候群では原因も症状の進み方もそれぞれ異なります。

診断が異なると十分な治療効果が得られないため、専門家による正しい診断を受けることが大切です。

パーキンソン症候群には、パーキンソン病以外にも、薬剤性パーキンソニズム、脳血管性パーキンソニズム、特発性正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、神経変性疾患などの病気が含まれます。

なお、パーキンソン症候群の特徴はそれぞれの病気によって異なりますが、いずれも高齢の方に多くみられる病気です。



原因

パーキンソン症候群は、症状の原因となっている病気によって原因が異なります。

パーキンソン病様症状が生じる可能性のある病気は、脳血管性疾患（脳梗塞など）、頭部外傷（慢性硬膜下血腫）、特発性正常圧水頭症、神経変性疾患（多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症など）などがあります。

似たような症状を示すパーキンソン病は脳のドパミン神経細胞が減少し、筋肉の運動を調節するドパミンが少なくなることで原因ですが、パーキンソン症候群とされる病気にはこのような特徴は認められません。

そのため、パーキンソン病では不足しているドパミンの補充で症状の改善がみられますが、パーキンソン症候群では十分な効果が期待できません。

また、向精神薬や胃腸薬の一部には体内のドパミンに影響を及ぼすものがあり、このような薬剤の副作用としてパーキンソン病様症状を引き起こすことがあります。

症状

パーキンソン症候群の基本的な症状はパーキンソン病の症状に似ており、振戦、動作緩慢、手足のこわばり、小刻み歩行、姿勢反射障害などが認められます。パーキンソン症候群とされる病気によつては、次のような特徴が見られることもあります。

【**薬剤性パーキンソニズム**】
一部の向精神薬や胃腸薬などの副作用として現れる症状です。

体内のドパミンが減少することで起こるパーキンソン病と同様に、薬の副作用で体内のドパミンが少なくなったり、ドパミンの作用が弱まったりすることになり、動作が遅くなる、小刻み歩行になる、手がふるえるなど、パーキンソン病とよく似た症状が現れます。

通常のパーキンソン病に比べて進行が速い、突進現象が少ない、左右差が少ない、姿勢時・動作時振戦が出現しやすいなどの特徴が現れることがあります。が、絶対的な指標ではありません。

【**脳血管性パーキンソニズム**】
脳梗塞などの脳血管性疾患によって引き起こされるパーキンソン病様症状です。



脳MRIなどの画像検査により、パーキンソン病には認められない脳血管性疾患が認められるほか、症状に左右差がない、開脚ですり足歩行の特徴が見られるなど、パーキンソン病とは症状の出方が異なります。

【**特発性正常圧水頭症**】
頭の中や脊髄の表面にある髄液という水が脳室と呼ばれる部位にたまり、周りの脳を圧迫してしまいう病気です。

すり足で小刻みに歩くパーキンソン病と似たような症状を示しますが、パーキンソン病で見られる手のふるえは現れません。

【**慢性硬膜下血腫**】
頭部に外傷を負って1〜2か月経った頃に頭蓋骨の下で硬膜と脳との間に血（血腫）がたまり、血腫が脳を圧迫することですさまざまな症状が現れる病気です。頭痛、歩行障害、認知症などが現れます。

【**パーキンソン病以外の神経変性疾患**】
多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症など、脳や脊髄などの神経変性疾患には、動作が遅くなる、手足がこわばる、転びやすくなるなどのパーキンソン病に似た症状を示すものがあります。

検査

パーキンソン症候群が疑われる場合、パーキンソン病との鑑別および原因疾患の特定が必要になります。

パーキンソン病に特徴的な安静時振戦、筋強剛、動作緩慢、姿勢反射障害が見られる場合、頭部のCTやMRIを撮像して脳に異常がないかを調べます。

脳血管性疾患や神経変性疾患が原因となっている場合、これらの検査で異常が認められることがあります。

また、パーキンソン病の治療法であるドパミン補充療法を行って、症状が改善するか否かを確かめることも有効です。

薬剤性パーキンソニズムが疑われる場合は、使用している薬剤を中止したり変更したりして症状が改善するかを調べる必要があります。

治療

パーキンソン症候群の治療は原因となっている病気によって異なります。

【薬剤性パーキンソニズムの治療】

ほとんどの場合、原因薬を中止すると数か月〜半年程度で症状が改善します。薬剤を中止する場合は、必ず医師の指示に従い、自己判断で突然薬をやめたり減らしたりすることのないようにします。



【脳血管性パーキンソニズムの治療】

脳血管性疾患の原因となる高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、肥満などのリスク要因を取り除く必要があります。

脳梗塞の所見が認められる場合、血栓を溶かす薬剤を投与することもあります。

抗パーキンソン病薬が使用されることがありますが、一般的に抗パーキンソン病薬への反応が乏しいです。

【特発性正常圧水頭症の治療】

基本的には手術が行われます。脳室腹腔シャント術、脳室心房シャント術、腰部くも膜下腔腹腔シャント術と呼ばれる方法があります。

【慢性硬膜下血腫】

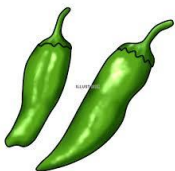
基本的には手術が行われます。頭部に何か所か穴をあけて血腫を取り除く治療が一般的です。血腫が小さい場合は、利尿剤の点滴による薬物療法を行うこともあります。

【**パーキンソン病以外の神経変性疾患（多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症）**】

根本治療が見つかっておらず、リハビリテーションによって運動機能を向上させたり、薬物による対症療法を行ったりすることが一般的です。パーキンソン病様症状に対しては、抗パーキンソン病薬が有効なこともあります。



ピーマンよりも豊富な栄養素で免疫力UP「ししとう」



●●●● ししとうの焼き浸し ●●●●

【材料 2人分】

漬け込み液

ししとう・・・15～20本、かつお節・・・お好みで
水・・・100ml、しょうゆ・みりん・・・各大さじ1、
かつおだしの素・昆布だしの素・・・各小さじ1/2

<豆知識>

ししとうは10本に1本くらい辛いものがあります。全体的に茶色や黒っぽいもの、皮にツヤがなくシワっぽいもの、よじれているものは辛いかもしれません。